

# みんなで築こう 人権の世紀

考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心



中部中学校2年  
野崎 春香さん



井田川小学校5年  
山口 さくらさん



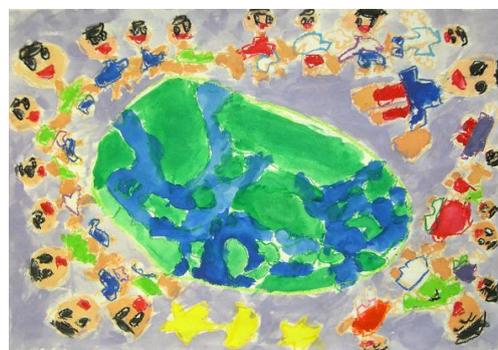
関中学校2年  
中川 俊希さん



亀山東小学校4年  
尾崎 遥さん



野登小学校2年  
西村 優花さん



白川小学校1年  
奥田 稀良さん

# ヒューマンフェスタin亀山 開催!

2010年12月4日(土)、青少年研修センターにおいて、人権事業の一環である「第6回ヒューマンフェスタin亀山」を開催しました。約300名の方にご来場いただき、無料託児や手話通訳もあり、様々な人が楽しめるイベントとなりました。

今年は、午前11時30分と例年より早めに関場し、ブースを楽しんでいただく時間を設けました。

1階ロビーでは亀山みそ焼きうどん・フランクフルト・味ご飯等の軽食販売、亀山高等学校の人権サークル「フレンドリークラブ」の人権ツリーなどの展示、集会場では市内小中学生による人権習字やポスターの展示などによる啓発を

しました。2階では、各種活動

団体による活動報告ブース、人権紙芝居、缶バッジ作り、市内小学生による人権標語展示、人権啓発DVD上映、クイズ、パズル、人権ぬりえなどを行い、楽しみながら人権を感じていただける内容のものにいたしました。

午後1時30分からは開会式のあと、中学生による人権作文『私に出きる事』の発表、テレビやラジオなどで活躍されている辛<sup>しん</sup>淑<sup>すこ</sup>玉さんによる「人権力を養う～想像力を広げる視点～」と題した講演会を行いました。中学生の作文は、素直に自分の気持ちが表現されており、ずっと心に入ってくる内容で、とても良かったです。辛さんの講演

演会は、スクリーンにいくつか話の内

容を表した写真を写しだし、その中から聞きたいものを来場者が選ぶという形式をとり、選ばれた内容は、障がい者の話・北朝鮮の現状・犯罪者の人権について・DVに関する話・差別問題等の話でした。辛さんのお話は、大変素晴らしく、未知の考え方や行動に引き込まれ、とても充実したものになりました。質疑応答のコーナーでは、都合上あまり時間を設けることができず、「もっと辛さんに質問に答えてもらいたい。」という人が後を絶ちませんでした。当日行ったアンケートの結果では、「もう一度辛さんの講演を！」との声が多く、大変大きな反響をいただきました。



辛 淑玉さん



# 障がい者の人権

障がいを持っている人は、持っていない人に比べて社会生活で様々な生きにくさを感じています。そこには間違った認識を持たれて、差別を受けるなどといった心のバリア（障壁）、道の段差などといった物理的なバリアがあります。また見た目にはわからない障がいを持っている人もいて、周囲の理解を得にくいことも多いです。障がいを持っている人が当たり前前に生活することを妨げてしまうバリアがまだまだこの社会には多く、そのバリアにより「わたしは障がい者だ」と認識させてしまっています。しかし、それらを少しでも軽くすることは誰にでもできるのではないのでしょうか。みんながバリアを感じず、生き生きと自分らしく生活できる社会を作っていきましょう。

## ★ バリアフリーとユニバーサルデザインの違いは？ ★

バリアフリーについて聞いたことがありますか。ユニバーサルデザインはどうか。この二つの違いをご存じですか。例えばバリアフリーは車いすの人が動きやすいようになるべく凹凸をなくし、スロープの設置をするなどといった物理的なバリアをなくそうということがよく知られていますが、その他にも制度的、文化・情報面、意識上のバリアをなくそうという概念のことをいいます。

ユニバーサルデザインはそれに似て異なるものです。ユニバーサルデザインとは、大方の人にとって便利で使いやすく、初めての人でも簡単に使えるもののことをいいます。例えば、エレベーターは様々な人が快適に移動ができます。またエレベーターの間口や室内を広くとる、ボタンの位置も低い位置と高い位置に設置するなど、様々な人が使える工夫が施されているものを示します。ボタン位置の低い自動販売機、シャンプーとリンスの違いがわかる刻みのついたボトル、多目的トイレもそれです。他にも、あなたの身の回りにはユニバーサルデザインのものはたくさんあるはず。探してみましょう。

バリアフリーとユニバーサルデザインについて一度考えてみませんか。いろいろな工夫から、様々な人が暮らしやすくなっていくのだと思います。

2010年度「人権」に関する絵画・ポスター募集へのご応募ありがとうございました。

平成22年の夏に募集いたしましたところ、たくさんのご応募をいただきました。

作品は9月に文化会館で開催された「かめやま環境市民大学」や12月の「第6回ヒューマンフェスタ in 亀山」で展示し、人権啓発に活用させていただきました。

来年度もたくさんのご応募をお待ちしております。



# ちょっと考えてみよう！！

【わたしのものさし】

(○△×)

- 1 駅に車イスの設備がないのはしかたがないと思う。
- 2 点字ブロック上の自転車は、行政が撤去すべきだと思う。
- 3 採用面接時に出身地を聞くことはルール違反だと思う。
- 4 親が子どもの結婚相手の身元を調べるのは自然だと思う。
- 5 家族の同意があってこそ幸せな結婚ができると思う。
- 6 日本の習慣に合わせるよう外国人も努力すべきだと思う。
- 7 外国人に部屋を貸したくない大家さんの気持ちも分かる。
- 8 外国人向けの標示や案内をもっと設置すべきだと思う。
- 9 老後の生活は自己責任だと思う。
- 10 女子が男子といっしょに野球をするのは違和感を感じる。
- 11 お茶の用意を女性がしがちなのはおかしいと思う。
- 12 家事の分担は家庭によって様々でいいと思う。
- 13 場合によっては我が子に手をあげることも必要だと思う。
- 14 電車内には妊婦や高齢者専用の座席を用意すべきだと思う。
- 15 最近の若者のマナーはなってないと思う。

これらのことは、話し合いのための資料です。

なにが○・△・×なのか答えはありません。いろいろな考えを出し合って人権感覚を磨いていただけたらと思います。

あらゆる差別のない明るい社会を築いていくためには、私たち一人ひとりが毎日の暮らしの中で人権感覚を磨いていく必要があります。